

マスバランス方式によるバイオマス割当 PS 容器がコンビニエンスストアの一部パスタ容器に採用  
～環境に配慮した素材～

株式会社 JSP パッケージング（代表取締役社長 飯島浩一）がグループ会社である株式会社 JSP 及び株式会社 KP とマスバランス方式※ 1 によるバイオマス割当 PS(以下、バイオ PS)※ 2 の発泡ポリスチレンシート製を使用して生産した容器が、この度株式会社ファミリーマート（本社：東京都港区、代表取締役社長：細見研介）の一部パスタ容器本体として採用されましたことをお伝えいたします。



※ 1 マスバランス方式とは「原料から製品への加工・流通工程において、ある特性を持った原料（例：バイオマス由来原料）がそうでない原料（例：石油由来原料）と混合される場合に、その特性を持った原料の投入量に応じて、製品の一部に対してその特性の割り当てを行う手法。」（環境省、バイオプラスチック導入ロードマップ、<https://www.env.go.jp/content/900534511.pdf>）を指します。

※ 2 原料として植物などの再生可能な有機資源を使用するポリスチレンの略称

本バイオ PS は、第二世代と言われる農作や食品業界における廃棄物や残留物、また廃食用油など再生可能な原料を利用し、また、第三者独立機関の認証を取得、原料から製品までのトレーサビリティを確保しており、ユーザーからの注目を集めております。JSP グループとしても、今後もバイオ PS を使用した容器を他の商品に拡充するなど、環境に配慮した素材の使用を促進してまいります。